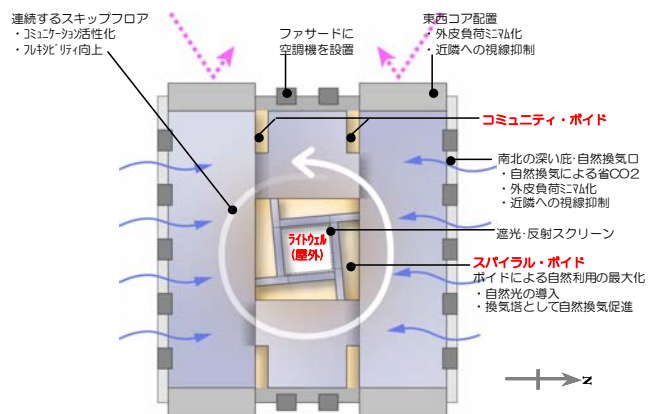


NO 8	(仮称)明治安田生命新東陽町ビル 省CO <sub>2</sub> 推進事業	明治安田生命保険相互会社		
提案概要	本建築計画の最大の特徴は、中層建物の内部に配された大規模なボイドと、ボイドを中心に1/4フロアずつスキップしながらスパイラル状に連続する「メガスパイラルオフィス」である。本建物は、建築・設備計画の融合を図った環境装置として徹底した省CO <sub>2</sub> を図ると共に、自然との「交感」によって感性が豊かになった働く人々のコミュニケーションの活性化・プロダクティビティの向上を実現する。このプロジェクトは自然と一体化することで省CO <sub>2</sub> を推進し、都心では出来ない新たな近都心型のオフィスの典型として普及していくべき雛形を提示する。			
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅)
	建物名称	(仮称)明治安田生命新東陽町ビル	所在地	東京都江東区
	用途	事務所/集会所/ホテル	延床面積	95,881 m <sup>2</sup>
	設計者	株式会社竹中工務店	施工者	株式会社竹中工務店
	事業期間	平成21年度～平成23年度		

**概評**

連続するスキップフロアで構成するメガスパイラルオフィスとし、スロープによる移動を誘発することでエレベータ利用等を抑制する工夫や、フロア周囲のボイド、ライトウェルによる自然エネルギーの活用など、建築計画的な工夫には新規性が見られる。併せて、輻射併用空調や在室検知による照明・空調システムを導入し、快適性を確保しつつ環境選択可能なオフィス空間を創出している点も注目される。このように、中高層のオフィスビルにおいて、建築計画的な工夫に基づいて知的生産性の向上と省CO<sub>2</sub>との調和を図るモデルを指向する点は高く評価できる。運用後の検証と関連データの公表を要望したい。

**参考図**



スパイラルオフィス(連続するスキップフロア)

